

まちづくり懇談会（平成28年11月21日～29日開催）

1 開催日、参加人数等について

開催日	開催時間	会 場	参加者（人）		
			合計	男性	女性
11/21（月）	午後2時	総合福祉センター	240	159	81
	午後6時	北日本多目的センター			
11/22（火）	午後2時	新城多目的研修センター			
	午後6時	常磐多目的研修センター			
11/24（木）	午後6時	上芦別多目的研修センター			
11/28（月）	午後3時30分	野花南生活改善センター			
11/29（火）	午後6時	総合福祉センター			

2 各会場の主な内容について

11/21（月） 総合福祉センター（午後2時～午後3時50分）	
質問・意見等	市の回答
<p>●(株)芦別振興公社の経営状況等に係る意見等</p> <p>○今年、燃料費の負担を約2千万円受けたのにも関わらず、1億円の赤字計上ということで、この赤字補てんの貸付については、市議会でも否決されていると聞いているが、今後の見通しはあるのか。</p> <p>○新聞の記事に、議会が前社長を解任せよという記事が載っていたが間違いないか。</p> <p>○振興公社の社長の給料は、過去には月額30万円であったが、再建するという気持ちであれば、前々社長と同じ月額60万円を前社長が貰うのは再建する資質が問われる。市長の考えを聞きたい。</p>	<p>○9月議会において、現在借りている2億2千万円のうち、9千5百万円が10月18日に償還期限が来ることから、借り換えという形で提案をしましたが、その部分の提案が削除され、事実上の否決という形になりました。現在は償還延伸という形で来年の3月23日まで延伸をしていますが、再度、12月議会に一定額の貸付金の提案をさせていただきたいと考えております。</p> <p>○議会から、新しい社長になっても赤字が続き好転していない、その社長の責任はどうかとご意見をいただきました。それを受けて、今後の経営の在り方など、前社長とお話しをした結果、辞任ということになりました。</p> <p>○前々社長が東西に奔走し、大変なお仕事をされていたことから、その金額を決められていましたので、それを踏襲して前社長にお願いをしました。その後、再建に向けて今年の6月から月額48万円に減額をしています。</p>

○民間の指定管理者を導入するということで、130人の振興公社の社員の方々が戦々恐々としている。家族も含めれば300人から400人にもなる。前社長になって、雰囲気は良くなってやる気が出たと言っていたのに、社員の方々の生活をどのように考えているのか。

○19日の議会報告会の際、新星クラブの方々が、最初は志が同じだったものが、全然違う意見になってきたこと、また、政風会の方は、今野市長に退陣を願いたいと、そんなことまで言っていた。議会の皆さんも志はみんな一緒だと思うので、このまちを少しでも良くするよう努力してほしい。また、振興公社の従業員の方が、今野市長から何の説明もないと不安がっていた。

○振興公社に対する貸付金が議会で承認を得られなかった場合、スターライトホテルは閉鎖するのか。どういうつもりで議会は貸付金を承認しないのか。

●その他市政全般に係る意見等

○昨年のまちづくり懇談会で、不妊治療費の助成を提案しましたが、実施していただけたことにお礼を言います。また、小中学生の医療費も無料となり、高く評価しています。さらに、これらをもう一歩進めて、給食費を無料にしてほしい。給食の時間は食育という立派な教科の時間であり、教科書が無料であるように給食も無料にすべきである。さらには、出世払い奨学金、就職したら10年後からお金を返していくという奨学金制度を考えてほしい。

○振興公社の社長を代えると、調理人は前社長が連れてきた方々ですし、前社長が辞めることによって異動されることは想定していました。しかし、社員については、100%叶うかどうかは今後引き受けてくれる会社との打合せになりますが、今の社員を雇用していただくチャンスを与えてほしいということを条件にしておりますので、新しい指定管理者に引き受けていただくことを考えております。

○新星クラブさんから色々ご意見をいただいたことには感謝しておりますが、最終的には寄り添うことができませんでした。従業員の方に不安を与えていることについては、新しい会社が決まりましたが、まだ詳細交渉は行っておらず、決定していないことをお話するのは逆に不安を与えてしまいますので、決まったことから随時お話しをしていきます。振興公社の課長が集まる会議では、部下の方々に私の思いを伝えるシステムをとっておりますが、交代現場、休みがばらばらということもありますので、紙面にして社員のみなさんで回覧していただく方法をとってまいります。

○市内から品物を調達する、修繕をするなど、12月には税金やこれらの支払いがあり、資金繰りは非常に厳しい状況にあり、とにかく振興公社を3月までしっかり残すには運営資金が足りません。このことから、議員の皆さまのご理解をいただけるように、市長として一生懸命頑張ってまいります。

○意見のため回答なし。

<p>○芦別に欠けているのは全国の認知度である。全国の人が移住・定住したくなるようなSNSやインターネットなどでの発信をやってほしい。</p>	<p>○意見のため回答なし。</p>
---	--------------------

11/21（月） 北日本多目的センター（午後6時～午後7時30分）

質問・意見等	市の回答
<p>●(株)芦別振興公社の経営状況等に係る意見等</p> <p>○選挙戦の時、振興公社の不正があったのではないかと、この間、市議会を傍聴するなどしていたが、明確なものが出ていなかった。今日の説明で横領等はなかったと聞いたが、もっと早く説明してほしい。また、前社長の給料が月額60万円はあり得ない。</p> <p>○新聞で新しい指定管理者が決まったことを知ったが、その決まったホテルの経営方針を調べてみたが、アットホーム的なホテルであり、スターライトホテルと雰囲気は全く違う。</p> <p>○前社長の経営能力はどうだったのか。</p> <p>○振興公社には、市のお金が潤沢に入っているからであり、通常の会社であれば、再建に向けて新しい社長を迎える時には必ず給料カットなど条件が付くはずである。60万円の給料にこだわる訳ではないが、通常の会社ではあり得ない。</p>	<p>○振興公社の経営状況についての報告が遅くなったことについてはお詫び申し上げます。前社長の給料60万円については、前々社長の給料を踏襲させていただきましたが、今年の6月からは経営改善のため月額48万円としています。また、議会とのちぐはぐなやりとりもあったかとは思いますが、私の想いを議会で答弁してきたところですので、ご理解をいただきたいと思っております。</p> <p>○指定管理者の変更にあたっては、3社から提案を受け、富良野でホテル経営をしている会社に決まりました。この会社は家族連れを大事にする経営をしておりますが、芦別市民の施設であるので、十分踏まえて対応していきたいとお答えいただいております。また、応募の条件とした従業員の雇用については、希望者については引き続き採用したいという意向を示していただいたことから、最終的に決定をしたところであります。</p> <p>○カナディアンワールドの借金問題にあたって、最低限の借金は残りましたが、その際に力量を発揮したと判断しておりますので、この力をもって振興公社を立て直すことができるだろうとお願いをしましたが、公共料金の値上げ、退職金の増加等により経営改善になかなか結び付かなかったところであります。</p> <p>○市のお金を使うので振興公社が傲慢経営でいいということではありません。それぞれの時代で一生懸命頑張ってきたと思いますが、今年の6月以降、これ以上振興公社の体制をこのままとすることはできないこと、また、市から出すお金を止めなければならないことから指定管理者</p>

<p>○振興公社の従業員にきちんと説明するべきである。</p> <p>●市立芦別病院の診療体制変更等に係る意見</p> <p>○外科の先生がいなくなり、市民は不安である。外科の先生は本腰を入れて確保することを希望する。</p> <p>○救急搬送の緩和を考えてほしい。</p>	<p>を変更するとしたところでございます。</p> <p>○振興公社では毎日会議があり、市長としての仕事が入っていない限り必ずその会議に出席しており、各課長が集まる会議でも私の想いを伝えています。なお、職員の勤務体制の関係から、口頭だけでは伝えることに限界があるため、紙をもって全員に回付するようにしています。</p> <p>○札幌医大、旭川医大など、事あるたびに医師の派遣をお願いしている、また、皆様方から情報提供をいただき、東京都や神奈川県へ行く、さらには、医者を斡旋する会社での募集、北海道庁の東京事務所や公立病院協議会へもお願いしております。市民の皆様には不安やご不便をおかけしており、申し訳なく思っておりますが、これからも気を抜くことなく頑張っております。</p> <p>○救急車の搬送については、患者さんがかかっている病院を聞いて、真っすぐその病院に行ったほうが良いと思われる場合、専門的な場合などは、その病院に搬送することになっています。現在、救急車は2台しかありませんが、3台目の出動が必要になった場合には、赤平や滝川から用意をしてもらうよう、広域消防として連携を図っています。</p>
---	---

11/22（火） 新城多目的研修センター（午後2時～午後3時30分）	
質問・意見等	市の回答
<p>●(株)芦別振興公社の経営状況等に係る意見等</p> <p>○来年度から温泉会計に係る指定管理者を変更してスターライトホテル等を運営していくとのことであるが、契約期間を教えてください。</p> <p>○振興公社の赤字が膨らんだことに関して、誰が責任をとるのか。新たに指定管理者になったとしても、市の貸付金の約2億円は残ることとなり、その取扱いはどのようになるのか。また、新たな指定管理者は信用できる会社なのか。</p>	<p>○平成29年4月1日から5年間です。</p> <p>○指定管理者を変更した場合、新たな会社に借金を引き継ぐことにはならず、振興公社に借金は残ることになります。振興公社としては、温泉会計という大きな収入源を手放すことになるため、市への借金返済は困難な状況であると考えています。また、その責任は誰にあるのかとい</p>

<p>○新たな指定管理者が赤字を出した場合はどうするのか。</p> <p>○市長は選挙時の公約で公社の健全経営を掲げて当選したが、この公約の柱を果たせなかった責任をどのように考えているのか。</p> <p>○振興公社の中に黒字部門があるのであれば、その部分から温泉会計に資金を回すことも考えるべきである。</p> <p>○富良野市の会社は、過去に指定管理者としての経験や実績はあるのか。もし経営が成り立たなくなり、突然撤退するようなことになったら違約金をとるのか。</p>	<p>う点については、市長及び社長という立場で、どのような事ができるのか、その方向性について検討を重ねていきたい。なお、新たな会社が信用できるのかということに関しては、公募の際に提出いただいた過去3年間の決算書や関係書類、スターライトホテル運営に関する具体的な提案のほか、富良野市で営業しているホテルの客室稼働率が80%以上と高いこと、楽天トラベルなどの予約サイトの満足度が5点満点中4.6点と非常に高いことから、現在の状況を客観的に判断すると、信頼のおける会社であると考えています。</p> <p>○指定管理者の決定は、法律に基づき議会の議決を経たうえで、施設の運営管理をお任せすることになりますが、宿泊料や宴会料理等の利用料金の範囲内で運営することになっており、スターライトホテル等は、その部分が赤字であるため市の貸付金で運営していますが、新たな指定管理者が赤字を出した場合には、民間金融機関から借り入れていただくこととし、市が赤字補てんすることはありません。</p> <p>○責任は非常に重いという認識であることから振興公社の社長も引き受けており、来年の3月までは一生懸命努力を重ねていきます。この12月には振興公社の資金がなくなり従業員の給料も払うことができなくなるため、議会にご理解いただくために市長としてしっかり取り組んでまいります。</p> <p>○平成27年度の当期純利益は△6,626万円であり、振興公社全体で赤字となっています。温泉会計では1億254万円の赤字となっていますので、他の会計で余裕が出た分を回しても赤字が6,626万円となっていることから、赤字額の大きい温泉会計を民間会社にお問い合わせをすることになりました。</p> <p>○ホテル&リゾートという会社は、自社のホテルを運営しており、旭川にもホテルを持っています。指定管理者は市の施設を借りて運営するので、固定資産税がか</p>
--	---

<p>○芦別から温泉がなくなったら何もなくなる。温泉を守るために日ごろ市民も努力をしている。この危機については、市長としての責任も追及されているので、特別職を含めて給料カット、議会も含めれば3千万円ぐらい捻出できるので、自分たちの身を削らなければ市民は納得しないと思う。</p> <p>●市立芦別病院の診療体制変更等に係る意見</p> <p>○外科手術は砂川、滝川、赤平と連携することであるが、他の病気の場合、出張医師の対応であり、曜日によって診察が休みの場合もある。これでは市民の安心安全は守れない。</p> <p>○緊急の場合はどんな病気でも他の病院との連携が必要である。市立芦別病院で対応が困難な場合や緊急の場合は、速やかに他の病院で対応してもらえるよう体制を整えてほしい。医師がいない場合は看護師の判断で対応すると思うが、過去に看護師の指示どおりに対応したら、病状が悪化したケースがあった。</p>	<p>からず減価償却も発生しないため、経営が有利になります。仮に撤退したとしても市としては損失がないため、違約金は発生しません。</p> <p>○市長報酬カットの件については、今後、市からの貸付金についての議会の理解を得るのは難しい状況にあるので、理解を得るためにどうすればよいのか、私なりに考えたいと思います。</p> <p>○現在の最重要課題は、手術が行える体制を整えることであり、外科医師を本州を含めて探している状況にあります。週二日程度の診療では十分な対応ができないと考えていますので、1日でも早く常勤医師を確保したいと考えています。</p> <p>○中空知の医療連携におきましては、外科や整形外科は滝川市立病院と連携しているほか、砂川市立病院はセンター病院であることから常に連携している状況にあります。年に一度、砂川・滝川などの病院長や市長と面談し、診療に対するお礼と医療連携のお願いもしています。また、芦別市立病院で対応が困難な病気の場合は、担当医師が患者さんの希望を聞いたうえで、他の病院を紹介するなどの対応をしています。看護師が独断で判断することはないと思っておりますが、過去にそのような事例があったのであれば、今後そのようなことがないように看護部に伝えます。</p>
---	--

11/22（火） 常磐多目的研修センター（午後6時～午後7時50分）	
質問・意見等	市の回答
<p>●(株)芦別振興公社の経営状況等に係る意見等</p> <p>○スターライトホテルを他の業者に任せるなどの声が聞こえており、古くからの従業員もほとんど辞めていると聞いたが、それ以上のスタッフを持っている企業がやってくれるのか。</p>	<p>○スターライトホテルは、来年の4月から民間の企業に任せることとなりますが、去る11月11日に市で選考委員会を開いて、富良野市にある北海道ホテル&リゾートという会社に決めたところです。この会社は富良野の北の峰スキー場の下でホテルを経営しており、非常に好評な</p>

<p>○働いている人が随分辞めたと聞いているが、大丈夫なのか。</p> <p>○スターライトホテルを第三者に委託した場合、合宿の里構想はどうなるのか。</p> <p>○市から借りたお金を返せるのかという話になるが、この2億2千万円という貸付金は、富良野の会社とは関係ないのか。</p> <p>○振興公社の株主総会はどのようなメンバーなのか。市長だけが責任をとるのか。また、議会で前社長の弁明を聞いたことがあるのか。</p>	<p>ホテルで実績も上がっており、さらに旭川にも子会社としてホテルを経営しています。スターライトホテルの経営が新しいホテルになるということから、4人の料理人のうち3人が退職となり、12月1日からの料理の提供は、宿泊の方と宴会にしか出せない状況になりますが、新しく経営先となるホテル等に料理人の派遣を依頼しており、目途が立ち次第、日中のレストラン営業を再開したいと考えております。</p> <p>○調理以外の方で退職の意思を示している方は、現時点ではいません。</p> <p>○新たな指定管理者を募集する際、市の政策である合宿の受け入れに対して配慮していただくよう条件を出しており、きちんと対応していただくといことを確認しております。</p> <p>○この2億2千万円というのは、芦別振興公社が作った借金のため、振興公社が2億2千万円を持ったまま、温泉事業だけを新しい民間の方に、民間の方は借金が無い状態で始めるということです。</p> <p>○株主総会は、芦別市が93%の出資をしており、私が筆頭株主でありまして、その他は、北洋銀行とJAたきかわが株主でございまして、権限としては私が一番持っていることとなります。前社長が議会で直接答弁するということではなく、議会からも前社長を呼んで話を聞きたいという申し入れもありませんでした。市長だけが責任をとるのかということに関しましては、私が市長になる前から借金はございましたが、私の時代にも9千5百万円をお借りしたところであり、合計で2億2千5百万円になっていますので、私にも借金が膨らんだ一つの要因としてはあるところであり、前にあったものも引き継いで市長が運営していくということでもありますので、その責任を負わなければならないと思っております。</p>
---	---

<p>●市立芦別病院の診療体制変更等に係る意見</p> <p>○11月から診療体制が変更になったこと、また、出張医師がどこの病院から来るのか、市の広報に一言も書いてない。市立芦別病院を改革する必要があるのであれば、もう少し市民にPRする必要があるのではないか。また、予約票の用紙サイズはA4であるが、滝川市立病院はA4の半分である。A4は必要ないのではないか。</p> <p>●その他市政全般に係る意見等</p> <p>○アスベストの件について、市内小中学校の状況を知りたい。</p>	<p>○派遣元の病院の状況にもよりますが、できるだけ広報での周知をするとともに、先生が出張で休診になる場合には、窓口に貼り出すなどの対応をさせていただきたいと思います。また、用紙などの経費の削減等については、私の方から指示をいたしますので、ご理解をお願いします。</p> <p>○市内小中学校4校の集合煙突に、アスベストが含まれているかの調査を2年前に実施しており、芦別中学校を除く3つの小中学校において、アスベストが含有しているものの飛散する状況は見受けられないという調査結果が出ていたところですが、改めて専門業者による調査を行うなど、万全な体制を図ってまいります。</p>
--	--

11/24（木） 上芦別多目的研修センター（午後6時～午後7時46分）	
質問・意見等	市の回答
<p>●(株)芦別振興公社の経営状況等に係る意見等</p> <p>○決算の中で、特別利益として1,978万円を振興公社に補てんしているがどういうことか。おそらく燃料のことだと思うが、会社が変わっても補てんしていくのか。</p>	<p>○スターライトホテルは、木質チップボイラーにより温泉を温めるほか、関連の暖房を全て行っておりますが、市の政策として行っているものです。チップボイラーを導入した時は、原油価格も高く、チップを焚いた方が経費の削減につながっていましたが、現在は逆転現象が起きており、振興公社の経営に負担となっております。今後、民間の事業者になった場合、同じことを続けるのかということですが、チップは市内の協同組合が作っており、そのチップの納品先は振興公社だけになっているところですが、チップの需要も高まってきておりますので、これから議会に提案いたしますが、協同組合側への支援を行い、協同組合が事業拡大を図り、チップをたくさん生産することができることによってコストも下がりますので、このように切り替えたいと考えております。</p>

○温泉会計以外の事業会計は、今現在黒字ということで理解してよろしいか。

○指定管理者を選定する際、どのようなプランを出されたのか説明いただきたい。富良野に持っているホテルの部屋数は、スターライトホテルに比べて少ないので、どのような経営プランなのか、また、提案を受けた3社のうち他の2社のプランと比べてどのような部分が良くてこの業者に決められたのか説明してほしい。

○北海道179市町村がある中で、温泉に限らず赤字になって民間に委託した成功例や失敗例、また、芦別がやろうとしていることが珍しいことなのかを教えてください。

○今年度の上半期だと思うが、営業が好転していると聞いているが、その金額が出ていない。収支状況等を明らかにしてほしい。

○温泉会計以外の事業では、道の駅、スキー場、キャンプ場などがありますが、これらのほとんどは、市から委託をしておりますので、赤字になることはございません。平成27年度の振興公社全会計の当期純利益は、△6,626万円、このうち温泉会計だけの当期純利益は△10,254万円であり、この差額分が温泉会計以外の4会計の黒字ということになります。

○新たな指定管理者となる会社のプランについては、東日本大震災の影響で北海道の観光客が少なくなったとき、その後2年で立て直し、客室稼働率が50%代まで落ちたのを80%まで上げた実績がありまして、とにかくお客様の満足度を上げる手法をとり、今も非常に好評となっています。富良野のホテルにおける主力のお客様はファミリーですが、スターライトホテルの場合は、シングルルームが多くツインルームもありますので、お客様のニーズに合った形にしていくという提案のほか、芦別の観光地、旭ヶ丘公園で楽しんでいただく、また、星が綺麗なので鑑賞会を開くなど、とにかく満足していただけることを次々に行っていくという提案を受けました。他の2社の状況については、インバウンドなど外国人の観光客に特化した経営をしている、健康ランドやカプセルホテルなどの実績はあるものの観光と宿泊としての実績が少ないということでしたので、一番本市の施設に相応しい会社を選定したところでございます。

○指定管理者を民間事業者に変えるにあたって、先進地の調査を行いました。美唄市、東神楽町、南幌町、沼田町、いずれも振興公社が温泉ホテルを運営していたのを民間事業者に渡したところでありまして、成功しているところでもあります。こういうことでは、芦別市が指定管理者の変更を行うということは、特に珍しいことではございません。

○9月30日現在の収支状況になりますが、温泉会計の収入合計が2億1,320万3,432円です。前年度の同時期は2億1,229万9,378円であることから、今

<p>○温泉には新しくボイラーの設置、マイクロバスの入れ替えをしているが、施設が老朽化しているので、業者に委託するにあたって、ここを直してほしいなどの費用が発生する心配はないのか。</p>	<p>年度は90万4,054円の売り上げが増加しております。28年度の支出については、2億3,546万3,518円となっておりますので、今現在の収支はマイナスの2,226万86円となっております。振興公社全体の収支状況については、収入の合計が3億5,075万3,243円、昨年度が3億4,913万1,823円でありまして、昨年比べて162万1,420円の増加となっており、28年度の支出が3億3,799万315円であることから、9月末現在では、1,276万2,928円のプラスとなっております。</p> <p>○現在は、5万円未満の修繕については振興公社で行っていますが、それを超えるものについては市が直しています。これは、市が持ち主で大家であるので通常のことでありまして、指定管理者が民間に変わっても同じような考え方になります。</p>
--	---

11/28（月） 野花南生活改善センター（午後3時30分～午後5時4分）	
質問・意見等	市の回答
<p>●(株)芦別振興公社の経営状況等に係る意見等</p> <p>○こんなに金額が大きくなるまでなぜ市は貸付をしなかったのか、もっと少ないうちに、事前に住民と相談するとか方法はなかったのか。事後報告だけではなく、もっと早い段階で住民と相談する機会を設けるべきであったと思う。</p> <p>○12月以降のスターライトホテルの予約は受け付けられないことを耳にしたが、状況を知りたい。</p>	<p>○市としては、議会にご相談申し上げて進めてきたところですが、市民の皆様にご直接お話をしていなかったこと、また、事後報告となってしまったことに関してはお詫び申し上げます。</p> <p>○11月末に4名の調理人のうち2名が退職、総料理長が12月16日で退職することから、残る1名がまちの元調理人の方を頼んで、今予約を受けている分については対応を図るところではありますが、この体制では、宴会や宿泊を受け付けられない状況も生じます。加えて、日中のレストランは調理師がいないので、12月から休業いたします。この状況を改善すべく、新しい指定管理者となる富良野の業者から料理人を派遣していただく、人材派遣会社から2名の派遣をいただくなどの要請をしておりますので、体制が整い予約が受け付けられるようになります。お知らせをしたいと考えています。</p>

○来春 4 月から富良野のホテル業者がスターライトホテルを運営するとのことであるが、議会が 3 月までの貸付金を認めなければ経営がストップし、従業員の給料も払えなくなると思うが、状況を知りたい。

○議会で承認を得たということで物事を進めることは間違っている。担当している市職員もしっかりしてもらわないと困る。市のお金を振興公社に貸したということは絶対返ってこない。返済もできないのにさらに貸付する、借金というものはそういうものではない。市民のみんなのお金であり、安易に一部の人のみで決めてしまうのはいけないと思う。

○老人無料券をいただいているほか、観光協会発行の券も購入していますが、新たな指定管理者に移行した場合、どのようになるのか。

○現在の借入金は 2 億 2 千万円ですが、今後、3 月までに必要な金額はいくらになるのか。

●市立芦別病院の診療体制変更等に係る意見

○緊急の場合、市立芦別病院をどうしても使わなければならないという規定はあるのか。救急車をお願いしても市立芦別病院に必ず寄る、30 分も 40 分も経ってから滝川や砂川に搬送されるなど無駄だと思う。このままでは、芦別市民は不安であり、ここに住めなくなると思う。

○議会の皆さんになんとか貸付をいただけるよう、一生懸命ご理解をいただくよう説明をしてみたい。

○市のお金の使い道、権限は市長にあることから、職員の意見を聞きながら方針を決め、それに対する費用を決めたうえで議会の承認をいただく、このようなシステムとなっております。職員の皆さんも一生懸命やっておりますが、最終的な責任は私にあり、振興公社を無くすことはできないという私の想いもあって、振興公社が借金を返す体制を作れるよう、会社とも話しを進めてきましたが、ここ 2、3 年でそういう体制になるのは難しいことから、他の方にお任せをすることとしました。借りたお金を短期間で返すことは、はっきり申し上げまして難しいことから、これは私の市長としての責任、社長としての責任となりますので、しっかりと考えさせていただきたいと思います。

○新しい指定管理者とこれから協議しますが、市としては一定期間これらを引き受けていただけるよう要望していきたいと考えております。

○3 月までに必要な金額は 8 千万円です。調理人の関係から予約をたくさん受けられない状況のため、売り上げが下がってしまうこと、また、退職者の発生による退職金の増加、新たな調理人を派遣いただくなどの費用も必要になってきますので、3 月までは 8 千万円が必要と試算しています。

○以前は市立芦別病院に搬送し、市立芦別病院の先生の指示に基づいて、市外の病院へ搬送していましたが、救急救命士制度が発足してからは、ある程度救急救命士の判断に任せられていますので、症状に応じて砂川や滝川に直接搬送できるようになっています。

質問・意見等	市の回答
<p>●(株)芦別振興公社の経営状況等に係る意見等</p> <p>○議会は、前々社長の経営に問題がなかったのかを調査するため、第三者委員会を設置し調査すべきと申し入れた経過があると言っていたが、なぜ市長は設置しなかったのか。設置をしていれば市長と議会の間には軋轢は生じなかったと思う。</p> <p>○来年4月から北海道ホテル&リゾートが経営を担うということで、客室稼働率が高いなど期待できるという説明であるが、富良野市と芦別市では環境が違う。経営が成り立たなくなり民間会社が手を引いた場合、市として何か方策はあるのか。</p> <p>○市長は芦別市のトップであり、経営において陣頭指揮を執るのは無理がある。前社長になってから客数が増えて状態は良くなってきたという話もあったのに、前社長、専務を辞めさせ、突然、市長が社長になり、社員は不安だと思うし、来年3月までに更に赤字が増えそうだという説明もあったので、なぜ、来年3月まで前社長にお願いしなかったのか。</p> <p>○インバウンドの再開という話もあるが、外国人観光客は日本のマナーを知らないの、客離れに繋がっており、受け入れ体制が整っていないと思う。レストランや温泉の半額デーについても、コストは当たり前にかかっていると思うので、安易な考え方</p>	<p>○第三者委員会や監査法人に相談することも考えましたが、振興公社の今後の在り方を考えた場合に、そのような手法を取ることについては如何なものかという考えに至ったことから、第三者委員会の設置には至らなかったということでございます。</p> <p>○北海道ホテル&リゾートは非常に良好な経営をされており、今回の提案にあたって綿密な事業計画及び収支計画が提出され、信ぴょう性も高いと判断していますが、今回、民間会社を指定管理者としたのは、いろいろな手法の中からこれが最適であると判断したところであり、その他の手法としては、ホテルの経営を一手に引き受ける会社への業務委託、労務委託として支配人や料理長を派遣していただき運営する方法など検討したところでありますが、仮にこの会社の経営が成り立たなくなり撤退した場合は、再度、その手法について検討いたします。</p> <p>○好転はしているものの、年間を通して赤字は解消できないということであり、2～3年後に間違いなく黒字になるのかなどの経営分析や経営方針を前社長と話し合いをしてきましたが、ここ1～2年で黒字にするのは難しい、長い目で見てほしいと話があったところです。この様なことから、市長として、今後2～3年、大きな資金をつぎ込む、貸し付けを続けることにはならないと判断し、ノウハウを持っている民間会社に指定管理者にお任せすることとしたことから、前社長は身を引かれましたので、それまでの間、社長を空席にする訳にはいかないことから、私が社長に就任したということでご理解いただきたいと思います。</p> <p>○インバウンドについては、市民から指摘を受けるなど、中止することも考えましたが、収入を確保するために一定程度の受け入れを行っています。レストランや温泉の半額は、料理の評判が落ちたこともあり、もう一度市民の皆様に戻ってき</p>

であり、客数の増加に繋がっていない。

○来年の4月、新たな指定管理者に運営が移るまで、振興公社の社長として、或いは市長としてやっていけるのか。資金繰りはどうなるのか。

○12月の議会で新たな貸付金を提案されると思うが、貸付金が否決されたら市長として、社長としてどのように責任をとるのか。

●市立芦別病院の診療体制変更等に係る意見

○外科は火曜日と木曜日が出張医となっているが、手術も含めて対応していただけるのか。また、整形外科が少なくなると合宿事業にも影響が出ると思うが、合宿に選手が来ているときは、整形外科の医師を多めに配置する考えはあるのか。

●その他市政全般に係る意見等

○振興公社の問題が大変なのは理解できるが、市長の政策を教えてほしい。合宿の里構想、合宿所はどうなっているのか。今、日本は東京オリンピックに目を向けているが、どうして市内のスポーツ施設を活用しないのか。網走や名寄では手を挙げているのに、芦別は手を挙げないのか。市民に夢を与えるのがあなたの責務である。今までの1年7か月、何をやってきたのかお伺いしたい。

てもらうためのきっかけ作りとして実施したものでございます。

○料理人の退職により予約を受けることができないため、3月までの運転資金も厳しい状況となりますので、市としては再度貸し付けをしていきたいと考えています。振興公社の社員の給料を支払いながら3月までは社長として、市長としてしっかりと責任を果たしていきたいと考えております。

○振興公社を守っていくのが市長として社長としての責務であると考えています。私としては、貸付金を認めていただければ、市内経済への影響、また、従業員の皆様や温泉が相当な努力をしなければならぬと考えていますので、貸付金については、市民の皆様の理解をいただくよう努力を重ねてまいります。貸付金が否決された場合の私の責任につきましては、現時点では答弁を控えさせていただきます。

○外科は外来のみの対応であり、手術は行っていません。仮に手術の予定があるのであれば、札幌医大第1外科から応援をいただけることになってはいますが、基本的には滝川市立病院、砂川市立病院で対応いただいております。合宿に関しては、事前に相手先には怪我をしても芦別市立病院には常勤医がいないことを申し上げており、市外での対応となることをご理解いただいております。

○市長就任後、市民の福祉向上、市民の生活の安定を願って市政を運営してきたところであり、子育て支援や各市内企業の経営安定助成、企業の人材確保を進めていきたいと考えています。これまでは、中学生までの医療費無料化、保育園、幼稚園の費用を国の基準にあわせて引き下げるなど、子育て支援に力を入れてきました。合宿については、網走、名寄の例をご紹介いただきましたが、本市としては、東京オリンピックの事前合宿地としては手を挙げております。網走、名寄に

<p>○芦別の自然の豊かさは、札幌から来た方も感動することは多いと思うが、市民の森が無いと思うので、こんなに自然が豊かにあるので、自然を活かした場所が必要だと思います。</p>	<p>については、ホストタウン構想に取り組んでおり、事前合宿とは別の取り組みになります。ホストタウン構想は、あらゆる分野で相手国との継続した交流を目指すもので、道内では3か所が手を挙げていますが、ホストタウンの許可は、相手国との関係性などハードルが高く、本市が手を挙げる状況にはないところですが、事前合宿の運動は続けていきます。</p> <p>○旭町に生活環境保全林があります。今後PRに努めていきます。</p>
--	--